

事務事業名	介護予防事業		担当	健康福祉部 高齢福祉課 地域支援係	
政策名	2	「笑顔づくり」～安心と元気アップ！～	施策名	3	高齢者福祉の充実
成果指標	名称		単位	6 年度実績	
	介護予防教室の実施回数		回	298	
	介護予防教室参加者数		人	4727	
	認知症予防ボランティア育成数（延べ）		人	120	
事業概要	高齢者が健康で自立した生活を送るために、心身機能の低下を防ぎ要介護状態になることを予防し、また要支援者を早期に発見し介護予防事業につなげ自分らしい生活を送るため、介護予防普及・啓発活動の推進を実施する。 ・65歳以上の高齢者を対象に、いきいき運動教室や健康教室等の介護予防事業を実施する。 ・認知症予防ボランティアを養成し地域での介護予防活動を支援する。				
6 年度実績・成果・課題	【令和6年度実績】 ・介護予防教室開催 298回（前年比：53回減） ・教室の参加者の評価として、事前・事後の体力測定や生活アンケート以外に、満足度や目標達成度を導入し、参加者自ら意欲的に取り組めるよう改善した。 ・各種教室や通いの場等様々な機会や媒体を通じて、介護予防教室を実施できた。 ・認知症予防ボランティア育成は隔年のため未実施 【成果】 ・運動機能・日常生活機能の向上につながっており、介護予防になっている。 ・教室の回数、参加者数が減少したのは井頭温泉リニューアルに伴い3コース中止となったためであるが、可能な範囲では実施できている。 ・参加者や教室運営スタッフの認知症予防ボランティアに目標や満足度を取ることで双方がモチベーションをアップしながら継続参加できた。 【課題】 ・井頭温泉バーデプールがなくなってから、プールでの教室がないため、今後市内のプール施設で水の効果を利用した教室ができるか検討する。				
今後の方向性と具体策	☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的絞り込み ☐ 目的拡充 ☐ 事業統廃合 ☐ 事業のやり方改善 ☐ 予算削減 ☐ 予算増大 ☒ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 【具体的な改善案】 ・参加者の出席率や満足度を高くするよう委託事業所と流れや対象者の状況の情報交換を密にする。 ・認知症予防ボランティア（オレンジサポーター）が自身の介護予防も兼ね活躍しながら、参加者とともに介護予防できるような仕組みができているため、市として後方支援しながら自主教室を支える。				